

経営評価シート

1. 団体の基本的情報							
団体名	福岡北九州高速道路公社			設立年月日	昭和46年11月1日		
所在地	福岡市東区東浜二丁目7番53号						
出資総額	224,630,600千円			主な出資者	出資額	出資割合	
県出資額	112,315,300千円			福岡市	83,567,500千円	37.2%	
県出資割合	50.0%			北九州市	28,747,800千円	12.8%	
					千円	%	
設立目的等	福岡市及び北九州市の区域並びにその周辺の地域において、その通行または利用について、料金を徴することができる指定都市高速道路の新設、改築、維持、修繕、その他の管理を行うことにより、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業の発展に寄与する。						
現状の主要事業の内容							
事業名	事業内容						
福岡高速道路	福岡高速道路の3号線の建設及び供用中の路線の維持、修繕、その他の管理を行うこと。計画延長60.5km、供用中59.3km。						
北九州高速道路	北九州高速道路の維持、修繕、その他の管理を行うこと。計画延長49.5km、供用中49.5km。						
事業実績に関する情報	単位	H28	H29	H30	R1	R2	備考
供用延長(福岡高速道路)	km	56.8	56.8	56.8	56.8	59.3	
供用延長(北九州高速道路)	km	49.5	49.5	49.5	49.5	49.5	
通行量(福岡高速道路)	台/日	187,428	189,925	190,381	188,280	157,410	
通行量(北九州高速道路)	台/日	92,102	92,885	92,304	90,298	75,843	
2. 団体の組織・人員情報							
代表者名	理事長	喜安 和秀	区分	国OB	常勤		
常勤役員名	副理事長	森田 欣明	区分	県OB			
常勤役員名	理事	坂本 正文	区分	県OB			
常勤役員名	理事	南里 隆幸	区分	福岡市OB			
常勤役員名	理事	原口 紳一	区分	北九州市OB			
		H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1
常勤役員数(※)		5名	5名	5名	5名	5名	5名
職員数	常勤(正規)	85名	95名	109名	120名	131名	134名
	うち プロパー	49名	56名	69名	80名	86名	85名
	嘱託(常勤・非常勤)等・臨時	68名	64名	53名	51名	42名	36名
	合計	153名	159名	162名	171名	173名	170名
増減の主な理由							
R2年度→R3年度 ・プロパー▲1(退職によるもの) ・嘱託等▲6(契約期間満了による退職等によるもの) ・設立団体派遣+4(新規事業等によるもの)							
3. 県関与の状況							
人的支援 (常勤役員再掲)(※)		H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1
	県派遣	8名	15名	16名	15名	20名	20名
	県OB	2名	2名	2名	2名	2名	2名
財政支出		H28	H29	H30	R1	R2	備考
	出資金	111,000千円	324,000千円	384,000千円	361,500千円	486,000千円	
	貸付金	259,000千円	756,000千円	896,000千円	843,500千円	1,134,000千円	
	補助・負担金	11,955千円	12,456千円	13,708千円	15,339千円	15,481千円	
	委託料	-	-	-	-	-	
4-①. 中期経営計画における改善に向けた取り組みの方向性(H29~R3)							
安心して都市高速を利用していただくため、確実な点検・維持、補修や老朽化対策に取り組む。安全・安心・円滑なサービスの提供を実施しながら、利用促進や経費削減を図り、効率的で安定的な収入確保に努める。また、事業を確実に実行するための組織を構築し、新規路線の整備及び早期事業化に向けた取り組みを実施する。							

4-②. 中期経営計画における改善目標の達成状況

改善目標の区分(視点)	目標達成に向けた具体的な取組、戦略等	指標	単 位	上段:計画 下段:実績					改善目標区分の達成に向けた2020年度(R2)の取組状況			
				2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)		2021(R3)		
事業活動・住民サービス  (計画性 公益性 等)	①都市高速の利用促進により社会・経済活動の円滑化を図る。	交通量(福岡・北九州合計)	台/日	279,530	279,530	282,810	282,685	278,578	233,253	279,530	次のような広報等(例として一部を記載)を実施し、都市高速の利用促進を行った。 ・都市高速の路線や料金、走行上の注意等を分かりやすく説明したスイスイマップの設置個所を増加。 ・福岡市及び北九州市周辺の小学生とその保護者向けに配布される冊子に、都市高速の利用を促進する広告を掲載。 ・県内の自動車学校で新規免許取得者に配布される冊子に、都市高速の安全運転のポイントや出入口の紹介記事を掲載。	
		料金収入(福岡・北九州合計)	百万円/年	59,355	59,355	60,182	60,269	60,118	50,817	59,355		
		供用延長(福岡高速)	km	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8	59.3		59.3
		供用延長(北九州高速)	km	49.5	49.5	49.5	49.5	49.5	49.5	49.5		49.5
	②橋梁、トンネル等の近接目視点検を実施し、緊急措置段階発生件数のゼロを維持することにより、長期的な安全性の確保に努める。	緊急措置段階発生件数	件	-	-	-	-	-	-	-		橋梁、トンネル等の近接目視点検を実施した結果、緊急措置段階発生件数はゼロであり、安全性の確保に努めた。
財務会計  (経済性 効率性 等)	①借入金の調達に際し、効率的な資金調達に努め、将来の金利負担の軽減に努める。	資金調達方法	-	5・10・15・20年の償還年限の資金調達を組み合わせた。適切な資金調達を実施する。	5・10・15・20年の償還年限の資金調達を実施した。	5・10・15・20年の償還年限の資金調達を実施した。	5・10・15・20年の償還年限の資金調達を実施した。	5・10・15・20年の償還年限の資金調達を実施した。	5・10・15・20年の償還年限の資金調達を実施した。	5・10・15・20年の償還年限の資金調達を実施した。	シンジケート・ローン(5年)及び公募債(10年、15年、20年)による複数の資金調達を実施して金利の低減を図るとともに、元金償還時期が集中することによる借換時の金利変動リスクや特定の年限での借入れにより生じる金利変動リスクの軽減・分散を図った。	
		②効率的な経営を推進し、安定的な収入確保による計画的な長期借入金残高の縮減を図る。	県財政支出額	千円	381,955	1,094,892	1,092,456	1,293,708	1,220,339	1,635,481	16,342	建設費の増加(対前年度比)に伴い、県財政支出額は増加した。 償還は順調に進んでおり、長期借入金残高及び県債務(損失)保証額は対前年度比で減少している。
	長期借入金残高	百万円	588,237	566,217	554,253	520,268	488,836	469,200	473,335			
	県債務(損失)保証額	百万円	247,859	241,254	235,481	223,174	210,506	203,492	208,260			
内部管理  (健全性 等)	①維持管理及び建設事業に必要なかつ効率的な組織・人員体制を実現するため、職員の能力を適正に評価する。	人事評価制度の導入	-	導入済派遣職員プロパー職員嘱託職員	今後適切に実施していく。	導入済派遣職員プロパー職員嘱託職員	導入済派遣職員プロパー職員嘱託職員	導入済派遣職員プロパー職員嘱託職員	導入済派遣職員プロパー職員嘱託職員	今後適切に実施していく。	各所属に求められる能力を把握したうえで、人員配置を行うとともに、管理職が職員の業務目標について定期的に進捗管理を行い、人事評価することで職員の能力を適正に把握した。	
達成状況(まとめ)												
改善目標の「事業活動・住民サービス」、「財務会計」、「内部管理」について、利用促進や安全性確保、安定した経営、適正な組織・人員体制の取組を進めた結果、新型コロナウイルス感染症の影響により、交通量や料金収入が減少したものの、概ね目標を達成したところである。今後も引き続き、安全・安心・円滑なサービスを提供するとともに、安定的な収入確保に努め、令和3年度の目標達成に向け取組を進めていく。												

5. 経営状況(道路公社)							
項目	単位	H28	H29	H30	R1	R2	
<b>【貸借対照表】</b>							
資産合計	千円	1,260,662,784	1,268,413,718	1,275,255,159	1,283,497,482	1,298,434,190	
うち金銭債権	千円	5,417,310	5,506,924	5,560,161	5,470,505	6,250,948	
うち棚卸資産(販売用不動産含む)	千円	-	-	-	-	-	
負債合計	千円	1,038,111,372	1,045,188,421	1,051,243,588	1,058,739,156	1,072,679,209	
うち借入金額	千円	588,237,042	554,253,227	520,268,284	488,836,143	469,199,677	
うち県からの借入金額	千円	46,372,405	41,642,308	36,955,689	33,907,167	31,103,761	
資本の部合計	千円	222,551,411	223,225,297	224,011,571	224,758,326	225,754,981	
県債務保証額又は損失補償額	千円	247,858,720	235,480,666	223,174,144	210,506,485	203,491,681	
団体債務保証額	千円	-	-	-	-	-	
<b>【損益計算書】</b>							
業務収入①	千円	60,016,520	60,929,337	61,110,268	60,798,621	51,564,953	
業務損益②	千円	44,896,534	45,385,972	45,320,571	43,249,198	35,177,883	
償還準備金及び道路事業損失補てん引当金繰入前損益③	千円	38,226,910	39,642,528	40,509,461	39,224,802	31,711,134	
当期損益(駐車場)	千円	54,111	25,885	18,274	23,756	24,654	
<b>【収支計算書】</b>							
総収入 A	千円	112,942,927	96,188,779	100,703,947	94,472,990	77,392,155	
うち県財政支出額	千円	381,955	1,092,456	1,293,708	1,220,339	1,635,481	
内訳: 出資金	千円	111,000	324,000	384,000	361,500	486,000	
内訳: 補助負担金	千円	11,955	12,456	13,708	15,339	15,481	
内訳: 委託料	千円	-	-	-	-	-	
内訳: 貸付金	千円	259,000	756,000	896,000	843,500	1,134,000	
総支出 B	千円	113,775,097	95,925,875	100,605,054	92,910,299	73,704,562	
うち人件費総額	千円	1,114,746	1,234,017	1,254,638	1,357,769	1,383,211	
当期収支 A-B	千円	△ 832,171	262,904	98,893	1,562,691	3,687,593	
<b>【財務指標】</b>							
自己資本比率	%	17.7	17.6	17.6	17.5	17.4	
県財政支出率	%	0.3	1.1	1.3	1.3	2.1	
人件費率	%	1.9	2.0	2.1	2.2	2.7	
繰入前損益率	%	63.7	65.1	66.3	64.5	61.5	
<b>【団体毎の経営評価指標】</b>							
料金収入実績							
福岡高速	千円	41,826,659	42,446,124	42,588,857	42,613,589	35,906,842	
北九州高速	千円	17,527,887	17,735,763	17,680,138	17,504,455	14,910,122	
収支率(費用/収入)							
福岡高速	%	37.8	36.5	35.8	37.9	40.4	
北九州高速	%	47.6	45.8	43.0	44.7	48.4	
<b>【常勤役職員の報酬・給与に関する状況(R2年度)】</b>							
常勤役員平均年齢	61.8歳	常勤役員平均年収	10,780千円	常勤職員平均年齢	39.1歳	常勤職員平均年収	6,924千円
<b>【経営状況に関する各数値、指標の増減理由】</b>							
<p>収入については、料金収入実績は、新型コロナウイルス感染症の影響により、対前年度比で福岡高速が15.7%の減少、北九州高速が14.8%の減少となった。</p> <p>費用については、金利低下等により支払利息は減少し、元金償還額も減少したため総支出は減少した。</p> <p>この結果、「償還準備金及び道路事業損失補てん引当金繰入前損益③」は、前年度より19.2%減少した。</p>							
<b>6. 団体(経営責任者)の自己点検評価</b>							
<p>都市高速の安全確保のため、平成29年度に策定したインフラ長寿命化計画(個別施設計画)に従い、メンテナンスサイクル(点検・診断・措置・記録)の取り組みを着実に実施している。交通量及び料金収入は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したが、今後も引き続き適正な維持管理に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、利用促進を図っていく。</p> <p>今後、福岡高速3号線(空港線)延伸事業を着実に推進するため、事業の進捗状況に応じて組織・人員体制を整備していく。</p>							
<b>7. 外部専門家の意見</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、福岡高速及び北九州高速とも通行量及び料金収入が減少している。</li> <li>福岡高速では6号線が供用開始され、また新たな事業推進に取り組んでいることから、今後も健全な経営を維持するため、引き続き利用促進及びコスト縮減に取り組むことが求められる。</li> </ul>							
<b>8. 経営評価委員会による経営評価結果</b>							
<p>新型コロナウイルス感染症の影響もあり、交通量及び料金収入は減少しているものの、公社の経営努力もあって、借入金の償還は順調に進んでいる。都市圏幹線道路の整備促進を図るため、福岡空港関連自動車専用道路の事業推進も必要であるが、今後とも高速道路の利用促進や経費削減により、公社経営の安定化に努めるとともに、安全・安心の高速道路を維持するために計画的に老朽化・予防保全対策に取り組むことが求められている。</p>							